

富津市社会教育委員会議会議録

1 会議の名称	平成29年度第1回富津市社会教育委員会議
2 開催日時	平成29年5月16日(火) 午後2時00分～午後4時11分
3 開催場所	富津市役所502会議室
4 審議等事項	(1) 富津市社会教育委員委員長の互選について (2) 富津市社会教育委員副委員長の互選について (3) 君津地方社会教育委員連絡協議会理事の選出について (4) 平成28年度富津市社会教育事業について (5) 平成29年度富津市社会教育事業について (6) 富津市生涯学習・社会教育推進体制と社会教育委員について
5 出席者名	(委員) 川名賢、加藤喜一、宮内和男、小泉定男、川名健一、玉川智久、大野泰代、高橋栄二、杉田玲子、森千枝子、磯貝順子 (事務局) 岡根教育長、能城教育部長、岩名生涯学習課長、伊藤生涯学習課長補佐、平野主事、市川社会教育指導員、川名社会教育指導員、仲野家庭教育指導員
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当(理由)
8 傍聴人数	0 人(定員 5人)
9 所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 80-1345
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

第 1 回 富津市社会教育委員会議会議録

発言者	発言内容
<p>(事務局) 岩名課長</p>	<p>それでは定刻となりましたので、始めさせていただきます。 本日は何かとお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。進行を務めます生涯学習課長の岩名です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>開会に先立ちまして、平成 29 年 3 月 31 日の任期満了に伴い 4 月 1 日付けで新たな富津市社会教育委員になられました皆様に委嘱状の交付をさせていただきます。</p> <p>お名前を読み上げますので、その場でご起立をお願いいたします。岡根教育長と能城教育部長が皆様の前に回ってまいりますので、お 1 人ずつお受け取り願います。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>(委嘱状を交付する。)</p>
<p>(事務局) 岩名課長</p>	<p>それでは、新しく委員となられた方もいらっしゃいますので、委員の皆様のご自己紹介を行います。</p>
<p>各委員</p>	<p>(自己紹介をする。)</p>
<p>(事務局) 岩名課長</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、事務局職員の自己紹介を行います。</p>
<p>各職員</p>	<p>(自己紹介をする。)</p>
<p>(事務局) 岩名課長</p>	<p>ここで、会議の公開について説明させていただきます。本会議は、富津市情報公開条例第 23 条第 1 項の規定により公開となります。このため、後ほど会議録署名人 2 名を決めていただ</p>

<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>きたいと思います。また、会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承願います。</p> <p>会議に先立ち、出欠席の報告をさせていただきます。</p> <p>本日の出席委員は11名、欠席委員は2名でございます。したがって、過半数の出席がございますので、社会教育委員会会議運営規則第3条第5項の規定により、会議は成立いたします。</p> <p>それでは、ただ今から平成29年度第1回富津市社会教育委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>岡根教育長より挨拶を申し上げます。</p> <p>(教育長あいさつする。)</p>
<p>(事務局) 岩名課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>これより、議事に入りますが、委員長が選任されるまでの間、慣例によりまして教育長が仮議長の職を行います。岡根教育長は仮議長席に移動願います。</p>
<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>それでは、委員長が選任されるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。</p> <p>議題(1) 富津市社会教育委員会委員長の互選についてを議題といたします。</p> <p>富津市社会教育委員会会議運営規則第2条第1項の規定で、委員長は、委員の皆様との互選により定められております。選任の方法は、慣例により委員からの推薦のかたちで行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>

<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>ご異議もないようですので、委員からの推薦で行います。 推薦したい方がいらっしゃいましたら、お願いいたします。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>高橋委員を推薦します。</p>
<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>ただいま、高橋委員を委員長にとの推薦がありましたが、他にいらっしゃいますか。</p>
<p>各委員</p>	<p>特になし。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>他に推薦がないようですので、ここでお諮りいたします。 高橋委員を委員長に選任することによりよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>ご異議もないようですので、委員長は、高橋栄二委員に決定いたしました。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>ここで、委員長に選任されました高橋委員より就任のごあいさつをお願いいたします。 (委員長就任のあいさつをする。)</p>
<p>(仮議長) 岡根教育長</p>	<p>ありがとうございました。委員長が選任されましたので、ここで仮議長の職を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>(事務局) 岩名課長</p>	<p>高橋委員長は、委員長席をお願いいたします。 富津市社会教育委員会議運営規則第3条第4項「会議は、委員長が議長となる。」の規定により、ここからは、高橋委員長に</p>

	議長をお願いして会議を進めていただきますが、その前に会議録署名人2名を決めていただきたいと思います それでは、高橋委員長お願いいたします。
(議長) 高橋委員長	それでは議題(2)に入る前に会議録署名人の指名についてありますが、慣例により私から指名することよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
(議長) 高橋委員長	ご異議もないようですので、川名賢委員と川名健一委員でよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
(議長) 高橋委員長	ご異議もないようですので、会議録署名人は、川名賢委員と川名健一委員に決定いたします。 続きまして、議題(2)の、富津市社会教育委員副委員長の互選についてを議題といたします。 副委員長の選任の方法について、委員からご意見がありますか。
宮内委員	委員長からの指名がよいと考えます。
(議長) 高橋委員長	ただいま、委員長から指名とのご意見がありましたが、ほかにございますか。
各委員	特になし。

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>他にご意見もないようですので、私から指名することによる しいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ご異議もないようですので、副委員長は、私から指名するこ とにいたします。それでは、副委員長に杉田玲子委員を指名い たします。</p>
<p>各委員</p>	<p>お諮りいたします。杉田委員を副委員長に選任することに、 ご異議ございませんか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ご異議もないようですので、副委員長は杉田玲子委員に決定 いたしました。</p>
<p>杉田 副委員長</p>	<p>杉田委員は副委員長席に移動し、就任のごあいさつをお願い します。</p>
<p>杉田 副委員長</p>	<p>(副委員長就任のあいさつをする。)</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>では、次に議題(3)君津地方社会教育委員連絡協議会理事 の選出についてを議題といたします。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>理事の人数等について事務局からお願いします。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>君津地方連絡協議会では、4市の委員長または議長のうち、 当番市が会長、他の3市が副会長となっておりますので、他の 理事の選出は2名となります。また、これまで監事をされてい</p>

	た磯貝委員は次の総会で職を解かれますので、今回は理事のみの選出です。
(議長) 高橋委員長	理事は副委員長と他の学識経験者の中から1名が選出されていますが、今回はいかがいたしましょうか。
磯貝委員	副委員長ともう一人は学識経験者の石井喜美子委員を推薦します。
(議長) 高橋委員長	ただいま石井喜美子委員を理事にどの推薦がありました、他に推薦したい方がいらっしゃいましたら、お願いいたします。
各委員	特になし。
(議長) 高橋委員長	他に推薦もないようですので石井喜美子委員を理事に推薦することよろしいでしょうか。お諮りいたします。君津地方社会教育委員連絡協議会の理事は、委員長の私、高橋と杉田副委員長と石井委員の計3名を選出することに、ご異議ございませんか。
各委員	異議なし。
(議長) 高橋委員長	ご異議もないようですので、君津地方社会教育委員連絡協議会の理事は、委員長の私、高橋と杉田副委員長と石井委員の3名を選出することに決定しました。 それでは、議題(4)平成28年度富津市社会教育事業についてを議題といたします。 事務局より、説明を求めます。

<p>(事務局) 岩名課長</p>	<p>議題（４）平成２８年度富津市社会教育事業について説明をさせていただきます。</p> <p>資料としましては、「教育委員会の点検・評価（案）抜粋」により説明させていただきます。</p> <p>この教育委員会の点検・評価は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関し報告書を作成・公表しなければならない、という規定により毎年作成しているものであります。</p> <p>現在（案）の状況でございますが、生涯学習課に関する事業の取組状況につきまして、簡単に説明させていただきます。</p> <p>生涯学習課は、社会教育係、文化係、スポーツ振興係の３係で、時短職員を含めて１１名で事業を行っております。</p> <p>最初に、社会教育係、文化係が所掌する事務について申し上げます。</p> <p>１３ページをご覧ください。この表は、「富津市教育施策」の各施策目標値と到達点を掲載しておりまして、右の欄が２８年度の実績値となっております。たとえば、一番上の人材バンク「まちの先生」の利用件数は、この目標を決めた前年、２７年度の実績が４５件、目標年次の３２年度には倍増の９０件を目標としたところ、２８年度実績はすでに８０件に達しているということになります。</p> <p>１４ページから、①で主な事業と決算見込額を、②で取組の概要を、③で今後の方向性を記載してございます。生涯学習推進事業では、決算額が７６，６８０円と低い数字になっておりますが、これは、②にございますとおり、生涯学習推進大会が２７年度から休止となり、事業としては生涯学習情報提供誌の発行のみとなったことによります。今後は、まちの先生や出前講座などの学習支援の活用を引き続き促しながら、生涯学習推</p>
-----------------------	---

進体制の見直しを図ってまいりたいと考えます。

生涯学習バス設置事業では、市事業仕分けを受け、2台の生涯学習バスの運行について、事業の見直しが必要であるとの意見等から、運行形態や利用方法について検討いたしました。運用から25年前後の使用により老朽化が進んでいる車両を処分して、1台を更新いたしました。約1,500万円と廉価な使用ではありますが、乗車可能人数は44名と中型バスとしては多く、また週休日等以外はフル稼働が可能な予算措置をとっております。

図書費・移動図書館事業については、簡易型図書貸出システムを導入したことにより貸出・返却を迅速に処理できるようになりました。また、貸出可能冊数を3冊から6冊に増やしました。年間利用冊数は38冊とわずかな増ですが、7年来の減少傾向に歯止めがかかった形となりました。その一方で、これまで増加傾向にあった図書のリクエストは721冊から618冊、予約は390冊から304冊と受付件数は減少してしまいました。ヘビーユーザーがおひとり、または数名いらっしやらなくなったことが主な要因だと考えられます。公民館や市民会館で本が借りられるということを知らない市民も相当いらっしやるといふことで、今後、新たな利用者の掘り起こしに向け、PRや環境整備に努め、サービスの向上に取り組んでまいります。

文化財関係事業では、市内3か所の発掘調査や出土した遺物の基礎整理作業、文化財周知板の新設、改修などを行いました。

また、年度末から今年度当初にかけて、本庁舎エントランスホールの総合案内の向かい側、大会議室前に、本庁舎工事前の発掘調査で出土した遺物等を展示いたしました。

史跡見学会や出前講座などへの参加者も多く、市の歴史や文化財への関心も高いことから、引き続き市ホームページの充実、

活用を進め広報活動に努めるとともに、内裏塚古墳群の整備構想を検討してまいります。

次に、スポーツ振興係が所掌している事業に関しご説明いたします。24ページをご覧ください。

施策目標としてあげているのは、25ページ②にある行事参加者数を合計した全参加者数でございます。社会体育振興事業として、市民がスポーツに親しみ、健康づくり、体力づくりをし、豊かな生活が営まれるよう各種スポーツイベント等を毎年実施しており、人口が減り続ける中、一定の参加者を得ております。

今後も、ペタンクやドッジビーなど手軽に実施できるニュースポーツの普及にも努め、スポーツ推進委員等と連携を図りながら、参加者の増加に向けて検討してまいります。

体育施設管理運営事業では、公益財団法人富津市施設利用振興公社を指定管理者として、長年のノウハウを生かした施設の管理運営をお願いしております。

また、小中学校の体育施設を開放し、市民の体力づくり、健康づくり、レクリエーション活動のために活用されております。

富津市での開催が10回目となりました、千葉県民マラソン大会は、市民等の心身の健全な発達とスポーツ振興と観光振興に寄与することを目的として、千葉日報社と協力して実施し、地元住民による沿道応援や市内からのボランティア参加、会場内での各種イベントなども合わせて行うことで大会の活性化が図られております。

以上が、生涯学習課に係る主な事業の実施状況です。時間の関係で、詳細にお話できませんでした。後ほどご覧いただき今後の、活動資料の参考となれば幸いです。

なお、正式な報告書は、後日市HPに掲載いたしますので、そちらでもご覧いただければと存じます。

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>事務局からの説明は終わりました。 委員の皆様から、ご質問等ございますか。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>生涯学習バスについて、市などの用務が先行しておさえてあるのはわかりますが、どの日が空いているのかわかりません。各団体の会議において、日程が決まっても、バスが空いていなければまた決め直さなければならず、問題だと思います。市の事業が決まるのがいつなのか教えてほしいことと予約の状況について何らかの方法で教えていただきたい。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>まず、バスを利用できる団体は、「生涯学習バス」という名称ですので、第一義的には生涯学習団体が使うものであるべきですが、市が関係する公の事業の日程が先に決まっており、優先的に予約をする現状となっています。社会教育に関して、公民館主催の教室は市の行事に準じた取扱いとなっております。その他の社会教育関係団体は、平成28年度から抽選という形をとっています。利用したい日の3か月前の最初の平日に行い、くじをひいてもらいくじの番号が若い順に空いている日に予約を入れる方式です。抽選が終わった月の空いている日は、抽選後随時予約を受け付けています。</p> <p>空いている日の確認ですが、ホームページ等で確認できるような環境ではなく、電話や窓口で問い合わせいただく形となっており、その時の空き状況をお答えしております。しかし、その時点で空いていても抽選までの間に市の用務が入るほか、抽選の結果ご希望の日が予約できない可能性があります。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>状況はわかりますが、利用したくても利用できない団体が出てくると思います。社会教育関係団体は抽選になり、空き状況の確認は対応するとのことですね。利用しやすい環境になるよ</p>

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>うに検討していただければと思います。</p> <p>他にないようですので、議題（５）平成２９年度富津市社会教育事業についてを議題といたします。</p> <p>事務局より説明を求めます。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>（「平成２９年度富津市社会教育事業の概要について」資料により説明する。）</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>事務局からの説明は終わりました。</p> <p>委員の皆様から、ご質問等ございますか。</p>
<p>玉川委員</p>	<p>図書活動の充実について、事前に子どもの読書活動推進計画の案が送付されましたが、これについては後ほどの審議となるのでしょうか。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>その他の部分で審議いたします。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>他にないようですので、議題（６）富津市生涯学習・社会教育推進体制と社会教育委員についてを議題といたします。</p> <p>事務局より説明を求めます。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>（「富津市生涯学習・社会教育推進体制と社会教育委員について」資料により説明する。）</p>

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>事務局からの説明は終わりました。 委員の皆様から、ご質問等ございますか。</p>
<p>川名健一 委員</p>	<p>議題6について、説明がありましたが、私たち委員は何をしていけばよいのかよくわかりませんでした。端的に言うとしたらどのような役割を求めているのでしょうか。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>資料にあります社会教育法にありますように「社会教育に関する諸計画の立案」、「教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べる」、「職務を行うために必要な研究調査」を行うことを期待しております。これを達成するために図書及び計画についての部会的な会議を経て作りあげていければと考えています。今まで教育委員会から社会教育委員会議へ諮問をしておりませんでしたし、そのような取組をしている自治体は数割にも満たない現状です。本市でもそのような自治体に近づけるよう皆様からのご意見をいただきたいと思っております。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>事務局からの説明が多くの項目にわたり、実際に何をしていけば良いか見えていません。例えば、教育施策の項目に対して社会教育委員として何をすれば良いのでしょうか。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>いま説明した国や県が推進している事業へのスタンスが定まっていない状況です。これらを教育大綱に基づき、各事業を計画化するにあたって、皆様のお力を借りながら勸めていきたいと考えています。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>わかりました。それを行うには、議論をする内容について事務局で土台を作った上で、この会議で意見を聴取するというやり方がよいのではないのでしょうか。</p>

杉田 副委員長	本日この会議に初めて参加される方もいらっしゃると思うので、この会議の役割・関わり方を説明した方がよいのではないのでしょうか。
(事務局) 伊藤 課長補佐	国や県が進めている事業を委員の皆様にご説明することによって、それに対して富津市でもこの事業をやりましょうというような声をいただき、それから社会教育委員の中で内容を詰めていこうと考えていました。今後は市・教育委員会としての土台を持った上でこの会議にかけることといたします。
(議長) 高橋委員長	いま事務局から話がありましたように、たたき台を基に審議するというような形を取りたいと思います。 これにて、議題を終えて、その他に移ります。事務局から説明をお願いします。
(事務局) 伊藤 課長補佐	今後の社会教育委員の活動予定について説明します。 5月28日に君津地方社会教育委員連絡協議会総会がホテル千成で3時から、7月8日に君津地方社会教育推進大会が君津文化ホールで、11月9日に千葉県社会教育振興大会がさわやかちば県民プラザで開催されます。 君津地方社会教育推進では、社会教育表彰と新日鐵住金株式会社によるクローバー賞表彰が行われます。千葉県社会教育振興大会では、富津市が事例報告の割り当てとなっております。
(議長) 高橋委員長	県の研究大会の事例発表の内容については、事務局に一任ということで、実際にはストーリーの作製から発表まで事務局を中心に、ということになると思いますが、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>次に、「富津市子どもの読書活動推進計画（案）」について、事務局からお願いします。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>(「富津市子どもの読書活動推進計画（案）」について説明)</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>それでは、この計画案について、何かご意見があればお願いします。</p>
<p>大野委員</p>	<p>学校では読書の時間のようなものを設けているのでしょうか。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>富津市に限らず、全国の学校で10分程度の読書時間を設けています。</p>
<p>川名賢委員</p>	<p>朝読書という形でこの計画案に書かれているとおりの狙いで実施しています。</p>
<p>大野委員</p>	<p>朝読書をやっているように学校での読書活動が重要だと思いますので、これをもっと前面に出すような構成が良いかと思えます。</p> <p>ブックスタートや読み聞かせなどの本を読んであげる活動よりも自分から進んで読むことが大切だと思います。したがって、学校図書の充実を一番に掲げることが必要だと思います。</p>
<p>(事務局) 伊藤</p>	<p>読書が習慣づくきっかけとなるのは保護者との関わり方の中だと考えられています。ブックスタートや読み聞かせを行うか</p>

<p>課長補佐</p>	<p>いなかで後の読書率には差が出ているとのことであり、この取組も重要です。</p> <p>4か月児健診などにおいても、言葉はほとんどわからないような状態にもかかわらず、表情が豊かになる、反応を示すなどきっかけづくりには最適だという感触があります。学校の蔵書についても子どもが一番長い時間接する読書活動の場であることから重要であると考えますので、ただいまのご意見も取り入れて行きたいと思います。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>推進体制として、①ブックスタートや読み聞かせを通じた本と出会う機会の提供、②移動図書館、公民館図書室、学校図書館の環境充実、③朝読書などの読書の習慣化や広報活動の継続の順に案には掲載されています。発達段階に応じると②と③を逆にしたほうがよいかもしれません。</p> <p>学校が一番子どもの読書に近い場所というのがありますが、教育委員会としても、ブックスタートをボランティアのお力を借りて始め、朝読書の機会を設け、学校図書館、公民館図書室などの環境を整備するといった形で進めていこうと思います。これについても検討させていただきます。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>ブックスタートは学校でやっているのですか。計画に実現できると素晴らしいことが書いてありますが、今の現状についても教えていただきたい。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>ブックスタートとは0歳児に対して本を与え、コミュニケーションをとるツールにしてもらうというものです。本市では4か月児健診が最初の集団健診であり、読み聞かせの実演を毎月そこで実施しております。また、今年度からは予算化されており、絵本の配布も始まります。</p>

<p>杉田 副委員長</p>	<p>ボランティアとしてブックスタートにかかわっていますが、読み聞かせというより、子育て支援の性格の方が強いです。0歳児のうちから親子で本を介在してどのような時間が持てるか、語りかける言葉を絵本から引き出しているなどイメージしていただければと思います。富津市では図書館がないかわりに、子どもたちに読み聞かせをするというボランティアが学校ごとにできています。このようにボランティアに対する気持ちを持った方が多く居て、ブックスタートボランティアを募集したときも半数ほどが読み聞かせボランティアのメンバーのようです。</p>
<p>大野委員</p>	<p>小さい子への読書の働きかけも重要ですが、高学年の子への環境整備も必要だと思います。言葉がわからなくても教育テレビを家で流しておくだけでも子どものためになるという話を聞いたことがあります。しかし、読書は自分ですることですので、先ほど申し上げたような高学年の子達の読書環境整備も必要だと思います。</p>
<p>森委員</p>	<p>先日、なぎなた同好会の関係である中学校に行った際、図書室を見せてもらいました。部屋の設備は大変素晴らしいと思ったのですが、日に焼けてしまった本が多く、新刊も漫画本が数冊あるという状態でした。子どもの読書の充実というと、様々な本を手取る環境だと思います。昔は読んだ本の数でグラフをつくり競争したことがあるそうです。工夫して本に興味を持ってもらう取組があるとは思いますが、蔵書の内容が良くないと継続していくのは難しいのではないかと思います。</p> <p>杉田副委員長から話がありましたが、ブックスタートは家庭教育と繋がるし、健診をきっかけにコミュニケーションを取る上で有効だと思います。</p>

<p>川名健一 委員</p>	<p>この子どもの読書活動推進計画は事前送付されていたので、議題かと思いましたが、その他という分類になっておりました。議題の４・５を事前送付された方がよかったのではないのでしょうか。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>この計画案はまだ決を採るという段階には至っておらず、ご意見を伺いたいと言うことで議題にはしておりません。今年度２回目の会議では、決を採る方向で進めていこうと考えております。議題４・５の資料については、完成したのが本日であったため、事前送付はかないませんでした。今後は事前送付できるよう努めます。</p>
<p>川名賢委員</p>	<p>学校現場から意見を述べさせていただきます。学校図書館の蔵書はあまり入れ替わりませんが、移動図書館車が巡回しにきたときは、子どもたちは飛びついております。このように新しい本を読みたいという子どもたちの望みは確かなものです。</p> <p>読み聞かせボランティアは多くの学校で行われ、小学校では１～６年生を対象にしています。読み聞かせは本に興味を持つ上で有効と考えられており、最近では中学校でも行うところがあります。ボランティアの方と協力して、学校でも取り組んでおります。</p> <p>学校で朝読書をやっており、落ち着いた朝のスタートを切るものか、読書力・読解力の向上を図るものかどちらを目的とするか学校によって考えがあります。</p> <p>このように学校現場でも教員が工夫して進めております。</p>
<p>磯貝委員</p>	<p>以前、ブックスタートの様子を見たとき、親子のふれあいは親の心も満たしているとの感想を持ちました。健診に連れてきている子（健診児ではない）に名前を尋ねたところ、うまく話</p>

せていませんでした。母親も発音がうまくできていないことを感じていたようで、今後発音も定まってくるよと話をしていました。それで安心できたかはわかりませんが、こういった話を交わすことにも意義はあると思います。

公民館や市民会館に図書室があり、借りることができることをその方は知りませんでした。別の方からは本があることを知っていて行ってみたが、図書室の電気が付いておらず、人もいなくてどうしたらよいかわからなかったという話があり、事務室に行けば借りられますよと話ができました。

このようにブックスタートは読み聞かせ以外にも手応えがあるなど感じたので、報告いたします。

玉川委員

ブックスタートから始まり、小学校に入るあたりまでは、毎晩読み聞かせをしたりだとか親に依るところが大きいです。小学生になると自分で本を探すようになり、うちの子は他市の図書館まで2週間に1回20冊ずつ借りに連れて行っていました。たくさんの本を読んでいて、面白い本を知っているのですが、それは小学校にはないそうです。読みたい本があるのに、借りるには親に連れて行ってもらわなければならないと、移動図書館車を待つなど機会が減り、読書の習慣は途絶えてしまいます。こういった環境はかわいそうだなと思います。学校の図書室には読みたい本が無く、ボランティアの部屋にあるのでそちらに行っております。3階の1番奥という借りにくい場所に図書室はあるし、読んでほしい本等を昇降口前に置くなどの取組もありません。幼少期に家庭の努力により身につけた読書の習慣が小学校で続かなくなってしまうのは残念に思います。子どもの目に付くところに図書を置くなど、ハードでなくソフトで解決できることもあるので、工夫が必要かと感じます。

計画にそういった工夫を盛り込むのは難しいと思いますが、

<p>川名健一 委員</p>	<p>こういうことも留意していただければと思います。</p> <p>子どもの読書活動の推進に関する法律の附帯決議として、「行政が不当に干渉することのないようにすること。」とありますが、行政としてはどのようなことを注意していますか。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>この法律は自主的な読書活動に重きを置いているので、過剰に関与しないという意味で捉えております。</p>
<p>杉田 副委員長</p>	<p>富津市には司書職員が1名しかおりません。子どもの読書活動の推進というと、どうしてもあれもやれる、これもやれるという話が出てきます。公民館でも図書室にだれかひとり常駐すれば、移動図書館車も充実させれば、となると1名の司書の労力が割かれることになります。学校にある本を活用できることが一番良いですが、ボランティアに行って良い本をとると他市の図書館の本を使っております。</p> <p>先ほどと重複しますが、ボランティアの意思のある方は多いと思いますので、ボランティアが司書の下、活動できるような体制ができるとよいと思いますので、協議いただければと思います。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>多くの意見が出ましたので、これらを参考に計画の作業を進めていただければと思います。</p> <p>それでは、委員の確認について、事務局からお願いします。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>それではまず、公民館運営審議会委員につきましては、今までどおり委員長が対応ということでよろしいでしょうか。</p>

各委員	異議なし
(議長) 高橋委員長	それでは私がお受けいたします。
(事務局) 伊藤 課長補佐	次に、明るい選挙推進協議会委員ですが、いかがでしょうか。 現在、森委員が選出されておりますが、ご自身としてはいかがですか。
森委員	私でよろしければ、お引き受けいたします。
(議長) 高橋委員長	それでは引き続き森委員にお願いいたします。 その他にどなたかございますか。
各委員	特になし。
(議長) 高橋委員長	特にないようですので、これで本日の会議はすべて終了いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます、本日の会議を閉じさせていただきます。
(事務局) 岩名課長	ありがとうございました。以上をもちまして、平成29年度第1回富津市社会教育委員会会議を閉会といたします。お疲れさまでした。